



著者プロフィール

日原 傳 (ひはら・つたえ)

昭和34年 山梨県生まれ

昭和54年 東大学生俳句会入会。小佐田哲男、有馬朗人、山口青邨各先生の指導を仰ぐ。

平成2年 有馬朗人主宰「天為」の創刊に参加

平成5年 第一句集『重華』刊行

平成14年 第二句集『江湖』刊行

現在 「天為」同人

俳人協会会員

日本文藝家協会会員

〈句集『此君』より転載〉〈2008年9月27日時点〉

『此君』(自選15句)

日原 傳

まんざくは頬刺す風の中の花
難しく幹にとまりて囀れり
尾を振つてはじまる蛸蚪の孤独かな
花の名を魚に与へてあたたかし
亀の子の育ちすぎたる祭かな
いきほひの出で真直ぐに蛇泳ぐ
ある人は膝を抱へて涼みけり
昼寝の子一暴れしてまた眠る
てのひらの集まつてくる踊かな
長城の切れ端を目に秋耕す
出入口なき虫籠を編む男
虫の屍を裹みて露のひかりけり
伝言を巫女は菊師にささやきぬ
空飛んで来たる顔せず浮寝鳥
外套は神話の如く吊られけり